

【全体】

Q1 原燃材料価格上昇の影響を教えてください。

A1 原油感応度は重油や国内の電気・ガスの合計で従来、1ドル／バレル当たり計4億円／年の影響としていましたが、消費量の減少や為替の影響で緩和傾向にあり、現時点は計3億円／年程度の影響です。ドバイ原油の前提も55ドル／バレルで大きく外れておらず、当初見込みから大きな影響はありません。

Q2 1QにM&A関連費用13億円が発生したとのことですが、期初予想に織り込んでいたのでしょうか？化学品セグメントに影響が出ているのでしょうか？

A2 期初予想に織込み済みです。全て化学品という訳ではありませんが、化学品の影響が一番多く、一部共通部門として各セグメントに割り振られています。

【ガラス】

Q1 欧州の建築用ガラスの価格は前年同期比でどのくらい上昇しているのでしょうか？欧州の営業利益は前年同期比で横ばいとのことですが、エネルギー価格の上昇の影響があるということでしょうか。

A1 欧州全体でクリアフロート価格は前年同期比で2割程度上昇しています。欧州では主に天然ガスを使用しているので、ガス価格の影響を受けています。

【電子】

Q1 電子セグメントの前四半期比の減益(43億円)の要因について教えてください。

A1 季節性により液晶用ガラス基板の数量減、価格下落と電子部材の数量減が主な減益要因です。

【化学品】

Q1 1Qの実績について、クロール・アルカリ事業、フッ素・スペシャリティで分けた場合の前年同期比の増益寄与のイメージを教えてください。

A1 主な増収増益要因は海外のクロール・アルカリ事業が大きく伸びています。

Q2 国内において苛性ソーダの値上げが進んでいるようですが、期初予想に織り込んでいるのでしょうか。

A2 期初予想に織り込んでいません。

以上